

<b>1. 評価対象事務事業</b>		シート作成日	平成25年7月19日
事業名	共用車維持管理事務事業	担当課・係名	総務課公共施設係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	17
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	平成16年度

**2. 事業の概要**

目的 (何のために)	適正な運行管理と維持管理、安全運行				
対象 (誰を・何を)	共用車、職員				
内容	運行管理、維持管理、安全管理、自動車事故保険事務処理、職員安全運転啓発				
根拠法令・条例等					
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	1,168	1,420	2,259
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円	142	236	225
	一般財源	千円	1,026	1,184	2,034
	職員人数 (概算職員数)	人			0.19
	人件費計 (b)	千円			1,164
総事業費 (a)+(b)	千円	1,168	1,420	3,423	
事業費内訳 H 25 年度	消耗品費17千円、燃料費412千円、自動車車検等修繕料356千円、手数料14千円、自動車損害保険料144千円、安全運転研修委託料16千円、公用車リース料1,182千円、大磯二宮安全運転管理者会会費25千円、大磯二宮安全運転管理者会負担金50千円、自動車重量税43千円				

**3. 指標値の推移**

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 保有台数 (共用車)	台	4	4	4
	② 事故件数 (全体)	件	12	12	—
活動指標 (活動量)	① 稼働率 (平均・共用車)	%	26.60	28.14	31.33
	② 保険対象件数 (共用車)	件	1	2	—
成果指標 (達成度等)	① 稼働率 (平均・全体)	%	27.23	28.86	31.68
	② 保険対象件数 (全体)	件	7	12	—

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 共用車については一括管理が妥当である。
	・実施手段は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 庁内LAN（デスクネット）による設備予約で利用状況が確認できる。共用車の更新は、購入からリースへ移行した。
成果	・意図した成果が得られているか。	理由	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 共用車については、有効利用が図られているが、各課の専用車については、適宜、保有台数見直しが必要と考える。
	・コストに対して効率的か	理由	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率的 <input type="checkbox"/> その他 共用車の稼働率は高く、効率的と考える。共用車・専用車とも更新基準に基づきリースでの更新を行っている。
効率性	・コストの削減等を図ったか	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他 専用車についても稼働率を総務課で一括管理し、実績に基づき配車、更新を図っている。
	担当課による評価		評価理由 共用車の稼働率は高く、効率的と考える。各課の専用車については、稼働率を見ながら適宜、保有台数見直しが必要と考える。
			<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）

#### 5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	専用車については、稼働率により適宜、各課の保有台数の見直しが必要。
② 平成26年度に着手する事項	更新については、購入からリースに変更。稼働率に応じた専用車から共用車への見直し。
③ その他（課題、調整事項等）	専用車の稼働率による共用車への移行を引き続き検討する。

#### 6. 平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

共用車である電気自動車（1台）のリース更新を行う。 2台の専用車を共用車へ見直す。
--